



やまもと みつのり
(お名前) 山本 光範

(年齢) 50 歳

(ご住所) 兵庫 都道府県 姫路市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災のことを再認識するために歩きたいと思います。

(お名前) 濱田陽介 (ハマダヨウスケ)

(年齢) 38 歳

(ご住所) 兵庫県姫路市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は、この大震災のときのことをはきりとおぼえて
いないけど、今日、防災未来館へきて、いろんな人が
協力して、今の神戸があるということを、改めて感じました。

だから、これからも1月17日のこの出来事を忘れずに、
人との協力を忘れずに、生きていきたいです。

なので、これからも、「命」を大切にして、共に、
生きていきましょう！！！！

ふりがな お名前	たなか 田中	しおり 詩織	年齢	13才
ご住所	兵庫	都道府県	姫路	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は、3才の時に阪神・淡路大震災（地震）が起きました。
 私の住んでいた所は、あまり、えきょうは なかったし、
 小さかったから、ぜんぜん覚えていません。
 でも 今日、ここへ来て、はじめて震災（地震）のこおさを
 知りました。こんなに、苦くて、こわかったなんて
 知りませんでした。
 私は、この時、ひがいにになった人やボランティアの
 人たちがとても すこいと思いました。

ふりがな お名前	有村 菜香	年齢	13 才
ご住所	兵庫	都道府県	姫路 (市) 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

1月17日、私の3才の~~誕生日~~たん生日の日に、こんなことがあつた。
なぜか、自分のせいだ、地震があつたのではよいかと思ってしまう
ときがありました。

そして、人と防災未来センターに来て、本当にはじめて、地震
のおそろしさを知り、ここで、どのようなことがあつたと知り
と泣きたくてたまりませんでした。

そして、1.17マーケット、震災直後のまちと、大震災ホールを
見て回って、~~ほんと~~、とても命が、とても大切だと感じました。
とつた人たちにどうお返しをすればよいか、ということが
よくなりました。

ふりがな お名前	しばた りさ 柴田 理沙	年齢	12才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今日、ここに来て、地しんがど"来たけ、
こ"れいものが"来たいました。

私は、このころ2さいで"何も賞えそ
いません。

みじかな人が"せ"くなった方は"と"こも"深い
き"き"あ"った"と思"う。

その人たちのために"少"して"も"自分"が"
ど"きる"こと"が"あれば、何"ど"も
や"りたい"と思"います。

ふりがな お名前	おかもと あけみ 岡本 文三	年 齢	12才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市 郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

はんしんあちだいいんせいは、私のいえにも少しのみが
 がありました。でも、1.17シアターをみて、神戸ではもっとす
 ごかったんだな、とおもいました。私のいえでは、タンヌ
 がたおれてきたり、食器だなにあつたお皿が全部おれて
 いたりしました。でも、神戸では、金かいたいえも
 あつた。ので、私たちのいえはこう福だ、とおもいました。
 そう思うと、私達はせいいっぱい生きてゆきたいとおもう

ふりがな お名前	いんせい おきこ 岩本 明子	年齢	12 才
ご住所	兵庫	都道府県	姫路市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

いままで ありがとうございます ^{えこい} 考えた 自然のおそろしさか、
 人々の 悲しみの 深さか とてもよ
 かりました。 あと、人々 かに たすけ
 あって いく ことも 生きて いく うちで、
 とても 大事である と 感じ いました。
 1.17. に 多くの 人が たく なた
 コトを あたしは、 すうと
 心に とめて おきた い です。

ふりがな お名前	にしあき 西 勝 佑 里	年 齢	13 才
ご住所	兵庫 都道府県) 姫路 市 郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

地震で多くの人がなくなリ
 今でも悲しんでゐる人がいゝるコト
 が良く分かつてました。震災の映像
 を見てスゴク怖かったし、~~多~~多くの人が
 なくなつたので涙が出てきました。
 なので私もボランティアや基金を
 したいと思ひます。
 これからも頑張つて下さい!!!



ふりがな お名前	フクモト カズ 福本 佳彦	年齢	13 才
ご住所	兵庫	都道府県	姫路 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今日 ここに来て と「あれだけ」~~な~~ こと事か
 1.17シアター や大震災ホールなどを見せてもらって
 分かった。自分たちが「生きているあいだ」に
 こんな事が「おきたら ボランティアなど」
 すすんで「やっていきたいです」

ふりがな お名前	ササキ アイカ 佐々木 愛夏	年齢	13 才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 (市) 郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は、今まで、地しんが。こんなに多おそろしもの
 だては、しりませんでしたも
 阪神・淡路大震災の時私、2才
 だったので「あまりおぼえていません。
 コニキて地しんのこわさがわかった。

ふりがな お名前	しんどう あいこ 新藤 藍子	年 齢	12 才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市・郡		

「17メッセージ」応募用紙

兄つや、遺方は今頃どうしていきまか？私の為にはせめて引越さなければ私達幸福に結婚してましたね。昨年の秋父も遺方の所に行つてしまいました。私の指からまに指約指輪はなしていきせんよ。でもね、何かでも承知してくれれば上で遺り遠くに住む彼氏が念来メールと電話と一回会ったきりだ(お互い車は返してさ)今は新持の上でいく分は救われたいま。10年たつては嘘か。昨年ね、又おとあつて左の肩、クドスじゃないのかと写真取ったのは、地元にさ、昨年の学校に非常勤講師として勤められたよ。突、ちやうどは、でも車はの先生としておるべく頑張るから応援してよね。

さして遺方と二人で実現さめう、之言、で合唱団の舞台にも立ち(座)か(使)きたりするよ。もちろん遺方と一緒に...

それから昨年から看護施設の子供達に手話の研修としてXmasの前には敢えにボラunteerに行、てるんだよ。

私の命も昨年病を克服して遺方の所に行くのももうさぞかか知らないけれど、さしては行けないから仕方ないかな。

遺方と幸福に暮らせばいい。生懸命頑張るのみで頑張るから安心してね。私の大切は遺方へ今の私の状況報告です。今でも愛し、てないのは I Love You.

お名前	三 井 林 由 佳	年齢	41才
ご住所	兵庫 郡 津 部 町	姫路 郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

六甲山より見下ろす百万ドルの夜景，大橋の架かった向こうに見える淡路島の幽玄な眺望。もう、すっかり震災前の景観にもどったことでしょう。しかし、十年前のその日の夜明けの震災の悪夢，家屋を壊され，身内を失い，幸せを奪われた者の心の傷は決して癒されることはないでしょう。繰り返す脅かされ続けたいことでしょうか。負けたい下さい。亡くなった方達の命に代わって，壊れた町に桜が満開になったように，夜空に変わりなく月や星が輝くように，何倍もの幸せを掴んで下さい。

皆さんの犠牲が，ついこの間の新潟地震や，後のちの災害へどんなに教訓と救援救護活動に生かされていることでしょう。

国際色豊かな神戸，海を跨いだ淡路島の海の幸の豊さ，そこに住むみなさんは私たちに憧れます。お一人お一人の命の輝きこそ，命を奪われた人々への鎮魂曲となるでしょう！ さあ，肩を組んで私たちに共に世界の平和を願ひましょう。

ふりがな お名前	ふくもと のぶこ 福本 信子	年齢	65才
ご住所	兵庫 都道府県	姫路 市・郡	

ひょうごメモリアルウォーク 2005に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

私自身は、ありがたいことに震災の被害もなく、無事この10年生かさせてもらってます。被害に遭われた方々の様子を聞くたびに、本当に私は幸せ者だなあと思います。そして、震災があったことにより、主人と出会うことができ、今の私があるのです。被害に遭った方々には申し訳ないなあと思います。その思いをボランティアで少しでも届けたいのです。どうか、全ての人に幸せを感じることができる日々が訪れますように。

(お名前) 小野山 香 (オノヤマ カオリ)

(年 齢) 38 歳

(ご住所) 兵庫県姫路市

「1.17メッセージ」応募用紙

H.7.1.17 AM 5:46 に阪神淡路大いん災がある(あった)のは、してました。

でもこんなはくりよくとは知りませんでした。とてもコワイと実感しました。

1.1ミスターで見たあのえいぞうは今もわすれられません。

とてもびっくりしました。

じしんって今まであんまり体験したことがないので、おもしろいものだと思、てました。

でも、今日でかわいものを知って...。もうじしんなんてこんといてんと思うようになりましか。

今、家族、友達がいってよかったです思いました。

「ごめんねさ」

ふりがな お名前	とあ た り か り 友 田 谷 登 里	年 齢	11 才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市 郡		

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17シアターを見て、とてもリアルで、びっくりしました。阪神淡路大震災が、前よりも、とてもこわいという事がわかりました。改めて、協力する大切さや、生きていく事の大切さを知りました。

ふりがな お名前	アホキ リナ 青木 里奈	年齢	11才
ご住所	兵庫県	都道府県	姫路 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17 ミアターを見て、すごく恐かったです。手に汗をかいてしまいました。
 私は、その頃 埼玉県に住んでいたの
 で電球のひもがゆれた。だけで地震のこわさをあまり、知りませんでした。
 今日、見て、自然のおそろしさなど改めて感じさせられました。

ふりがな お名前	しろ 城 有香	年 齢	12 才
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市・郡		

「1.17メッセージ」応募用紙

当日、
三宮センター街に住んでいた人から体験を聞いたことが
あります。今日、映像をみながら、その方のお話を思い出して
います。大変、心が痛みます。

現在、復興された美しい町に戻っていますが、学生時代にあったはずの
ビルや風景とは違ふことを思うと、その間にこの様な
大きな出来事があったのだと、実感致しました。

この美しい町が永遠に続きまわりますように...

いしんのときはまた、うまれてよかった
といちよとこわかったです。

ふりがな お名前	比野のり子 ゆうか	年齢	37才 5ヶ月
ご住所	兵庫 都道府県 姫路 市・郡		

「1.17メッセージ」応募用紙

地震がとてもおそろしいものだと思いましたが、
 たくさん~~の~~の人がセクナリ、そして心に大
 きなきずを負ったという経験はないので、この
 センターに来てみて、どれだけの思いをしたの
 が「少しでも分かれた」と思います。

ふりがな お名前		年 齢	12 才
ご住所	兵庫 都道府県		姫路 市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

今日 えいごうをみてこわかったです。
 わたしか生まれるまえのことだったんですね。
 じっさいは、もっとこわかったです。と思います。

ふりがな お名前	こ 林 梨 都	年 齢	9 才
ご住所	ひょうご 都道府県) 姫路 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災を見て、とても
地震というのかいかにこわい
ものが改めて、分かりました。

ふりがな お名前	奇藤 玲奈	年齢	12才	
ご住所	兵庫	都道府県	姫路	市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

あれから、10年？

私たちの姫路市は、大きな被害はありませんでしたが、私も震災の2日目から、会社の救援チームを組織して、早速に神戸大学のキャンパスの避難所に向かい、避難された、皆さんが何をどうしてよいのか分からない状況・・・私たちも何をどう救援するのが良いか？とりあえずその日から、暖かい夕食を1000名の準備をスタートしました。

私は、若い時からボーイスカウトの指導者をしていましたので、支援隊長を命じられ、約一ヶ月、必死になって、お手伝いをさせて頂きました。

・・・あれから、もう10年。忘れられないあの時、忘れてはいむけない、犠牲になった、私たち同県の皆さん、冥福をお祈りしています。

(お名前) 苦瓜一夫

(年齢) 62 歳

(ご住所) 兵庫県姫路市

ひょうごメモリアルウォーク 2005に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

震災の記憶を風化させないよう、微力ながら自分のできることに力を尽くしていきたい
と思います。今日、私は、その第一歩を踏み出します。

(お名前) 高下 勝次 (タカシタ カツジ)

(年 齢) 37 歳

(ご住所) 兵庫県姫路市

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース (希望コースの 併記して下さい)			
住所	兵庫県 姫路市		
氏名	大野 英明 (49歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

神戸は自分の故郷。県内の姫路から神戸を応援します。
I LOVE HYOGO.

メッセージ:震災の一ヶ月後に神戸の同業者の会社へ、お見舞いに行きました。テレビで見たままの風景がそこにありました。言葉を失いました。
これで、神戸は10年、いや30年立ち直らへんで、と言われてましたが、わずが数年で立ち直りました。ですが、本当のところは疑問です。電車の窓から見る風景は、日に日にきれいになっていきましたが、それがかえって、悲しい気がしました。

名前:大江 隆幸(おおえ たかゆき)

年齢:46

住所:姫路市

メッセージ: 昨年11月に、総合学習で神戸の震災のことについて勉強しました。
インターネットで調べたうえで行ったのですが、思っていたより震災は怖いものだと知りました。
家族、友達、家…いろいろなものが失われてしまった地震でした。
地震があったころ、私は北海道に住んでいて、震災のことはニュースでしか知ることが出来ませんでした。
でも、神戸に住んでいたという友達の話聞いて、「怖い」のをこして「悲しい」になっていました。
しかし! 多くのボランティアの人のおかげで、被災された方いろんな面で救われたというのを知りました。
震災は、いろいろなものが崩れ、心も体もボロボロになるけど、人とのかかわりもあって、皆が協力して何かが出来るといのもわかりました。

名前: 岡本悠紀乃 (おかもとゆきの)

年齢: 14

住所: 兵庫県姫路市

一月十七日忘れず

あの夜、二階に寝て居る私に、大なる揺れ

に動転し、無我夢中下階段の手すりに頼りに

一階に降りました。

テレビに早々に出される、変わり果てた、

神戸の街。

リゾリクを背負い、線路上を歩く人々。

連日、上空を飛ぶへりこがたりんの爆音。

多数の犠牲者。

テレビに釘づけになつた私。

云々尽くせぬ程の痛々しく出た事に、世間

は一変しました。

昭和二十一年、十二月二十一日の明々方

起すに南海地震を、私は実家のあそ徳島で、

体験しました。

木造の二階加、お三お三と不気味な音を立て

て、揺れまじったが、阪神沿路の震災作、それ

似上りもの下りた。

救援に出動して居る長男作、テレビで見

るより現場の方か、何倍も悲惨だつたしと声を話もらせて話してなりました。

私の住む町は幸い此ほど、大層な被害も無く

済んだといは云え、二の震災は物はすつあり

涙腺が溢るく存りました。

神戸は物にとつては思いよか一杯話まつ

左衛門すから。

加古川市

ナル
鳴瀬孫生

七十四才

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

『未有の1.17』

兵庫高校でのボランティアと、ささやかな
支援を通じ、この星に生きていること、
生きていくことの大切さを学びました。
あれから10年、まあるい地球への光の
一歩、串崎子と神戸の街を歩きます。
永遠の鎮魂と再生を祈りつつ。

ふりがな お名前	やま かつ ひと い ち 山 上 大 一	年 齢	69 才
ご住所	兵庫 都道府県	加古川	市・郡

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫県 加古川市 町・村		
フリガナ 氏 名	ミツモト ユキオ (73歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

阪神大震災から10年を迎へ「1.17」に想う
被災者の一人としてあの日の恐怖の瞬間だけ、心裏から離れる事はない。
10年の歳月を終り、蘇った街のみを思うにつけ、6.4万人の犠牲者の
市魂に涙を誘われ、震災を風化させることなく語り継いで行きたいと身の引き締まる思い
して居る。

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

希望に溢れた社会になるように祈っています。

(お名前) 大塚 純斎 (オオツカ ジュンサイ)

(年 齢) 54 歳

(ご住所) 兵庫県加古川市

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

震災10周年を契機に更に県民同士の絆を強めて、地域の発展に向けて努力していこう。

(お名前) 三村 修 (ミムラ オサム)

(年 齢) 63 歳

(ご住所) 兵庫県加古川市

「1.17メッセージ」応募用紙

私の父は震災からちょうど2か月経たな3月17日
突然倒れて亡くなりました。

姫路の大手メーカーに勤めていた父は、あの震災の日から
神戸の仕事を片付けるため走り回っていました。

そして亡くなりました。

こういう震災死... きっとたくさんいたのでしょう。

高校生だった私も今は公務員になりました。
短大生だった姉には、今年赤ちゃんが生まれました。

その日に神戸で亡くなった方々だけでなく
こういう人もいるのだというのを忘れてはいけないと思います。

ながおか みゆき
(お名前) 永岡 美幸

(年齢) 26才

(ご住所) 兵庫県 加古川市 郡

「1.17メッセージ」応募用紙

新潟地震で被災された方々の避難場所での暮らしをテレビで見たとき10年前の記憶が鮮明によみがえってきました。外に飛び出たあとに恐くて家の中に入れたことが。夜は不安で近くの中学校のグラウンドに車を止め、その中で家族全員で寝たこと、電気・水道・ガスが全て止まり、あたりまえにしていたことが何もできない生活に絶望したこと。

でも... 顔も知らない人に助けられました。今までも話をしたこともない人と協力して、近所の家の中の片づけをしたこと、被災後初めて隣の銭湯に入ったときの感激。近くに行くことができた住居の付かずに初めて眠ったときの安堵。極限の非日常のなかで知った人の温かさ、力を合わせることの大切さ。日常へと戻っていくときの喜び。日常をあたり前にすごせることへの感謝を改めて思います。この尊い体験を新潟そして神戸からこれからも伝えていかなければなりませんと感じます。被災地での共同浴場の設置や、温かい食料を届ける炊き出しや、家や仮設トイレを掃除する現地の方やボランティアの方の姿を見ていると、阪神淡路大震災の教訓が少なからず活きていると胸をうたれ~~る~~思いました。新潟の人々にとっつは^{厳しい}現実と向きあうこれからが本当の正念場だと思ったりも。互いに助け合ったり、励まし合ったり、やれやれの方か前を向いて進んでください。どうか神戸のいつも応援しています。

(お名前) わた べ ま お
渡 辺 雅 夫

(年齢) 34 歳

(ご住所) 兵 庫 都道府県 加古川 市 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から10年も経ち、街並みも以前の様に活気づいていますが、10年前の恐怖に未だ傷付いたままの人々もいると思います。この大きな震災を忘れる事なく現代、未来へと語り継いで行くべき事と感じています。

たくさんの被害を受けた方の為に、日本中からボランティアの方が被災地まで行き、たくさんの方々の心に温かく伝わり、争いを感じます。この争いは忘れず、一人一人の心に伝える残して行くべき事だと思います。

ふりがな お名前	船坂 舞	年齢	21才
ご住所	兵庫	都道府県	加古川 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

全国のみなさまからの あたたかい
お気持ち 有難うございました。
自然に対して 初めて体験した「恐さ」
でした。
改めて、いつおこるかわからない地震には事前の
備蓄が必要だと感じました。

ふりがな お名前	ほぼら ひろこ ほぼら 弘子	年齢	37 才
ご住所	兵庫 都道府県	加古川	(市) 郡

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

当時の震災直後目の当たりにした惨状が、思い返されます。それから10年神戸の街が
少しずつ回復していった姿も覚えています。これほどまでに徹底して痛めつけられた状態
にあっても、なおも奮起して復興していった数多くの市民の方々を見て、自分自身の力で
立ち直ることの大切さを学びました。未来に向けて更なる神戸市の発展に、心からエール
を送ります。

(お名前) 三村 修 (ミムラ オサム)

(年 齢) 63 歳

(ご住所) 兵庫県加古川

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

新潟のことを思うと素直に喜べませんが、ホントよくここまで復旧したものです。そして、1月17日は辛い日だけど・・・人々の優しさや暖かさを思い出します。

(お名前) 速水 繁 (ハヤミ シゲル)

(年 齢) 45 歳

(ご住所) 兵庫県加古川市

切り取り

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府(県)	加古川 (市) 町・村	
フリガナ 氏 名	アキハル 昭春 (70歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

今日は、皆様と一緒に黙祷させて下さい。
 あの時は、強烈な衝撃を受けて眼を覚ましきました。
 定年前のことでもあり何のお手伝いにも行けませんでした。
 3月末に定年の辞令を受領する為に阪急・JRを乗り継いで
 大阪に行った時、被害の大きさに改めておどろきました。 黙祷

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府(県)加古川	(市)町・村	
フリガナ 氏 名	日高 晴美 (65歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

阪神、淡路大震災10年早いものですね。今は神戸の町も
きれいになり、みちがえるようになっておりました。皆様にか
かんぱった
事と思います。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府県	加古川 市・町・村	
フリガナ 氏 名	サトウ ヨシマサ 里 吉 正 美 (53歳)	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

気持ちをいつまでも前向きに !!

メッセージ:私は三宮のトア・ロード筋の川北病院に検査技師として勤務していました。
震災当日は、三宮の病院で夜勤明けでした。目覚ましが鳴る5分前。当直室に寝ていましたが、ベットからバウンドしました。その後病院内の非常警報のベルが鳴動し、点検すると屋上と地下のタンクから水が出ていました。
その時は何が起きたか、地震とは思いませんでした。

裏玄関を開けて、職員通用口の鍵を開けたら、いつも通っている路地が無く、民家が北側にずれて路地が無くなっていました。表玄関のドアを開けると北隣の民家が全壊していました。この時、初めて地震である事を確認しました。南方向の山電の線路は北側に垂直に反り返り、ビルも倒れていました。このあと、今度は全館の非常ベルが鳴動しましたが、入院患者約100名は幸いにも全員無事でした。1/17から1/31まで入院患者の世話と復旧の為に病院に泊り込みました。患者は神戸ヘリポートから大阪の病院や他の病院に転院しましたが、従業員約100名は、全員解雇となりました。

復旧作業中は中々弁当が届かず届いたとしても数が少なく、入院患者優先でしたが、水道も断水していましたが、入院患者さんの紹介で明石市の民家の井戸水を借り、タンクに入れ、給食室でラーメンやごはんも炊いていました。ラジオで聞くと非常物資があちこちに届いている情報は聞くのですが、病院には来てもらえませんでした。私が貴社(kiss-FM)やAM神戸に連絡したら、すぐに自衛隊の方が給水車で病院前まで、毎日来て頂きました。メディアってすごいものですね。ラジオ局のかた自衛隊の皆様大変お世話になり有り難うございました。

名前:河原 隆志

年齢:47

住所:加古川市

メッセージ: 私は龍野市に住んでいます。震災の時、大きく揺れましたが幸いにも被害は小さくて済みました。当時中学1年生だった私は、テレビで炎と煙とがれきの街と化した神戸を見て、驚くばかりで何も力になれることをすることなく、震災時のことを思い出すこともあまりしなくなりました。先日、人と未来防災センターに見学に行き、たくさんの資料を見て震災地域の住民の方々、たくさんのボランティアの方々の大変な努力の結果、がれきの街から現在のきれいな街に復興したのだと実感し、私も何か役立てることをしていればと思いました。震災から10年目にあたる来年、神戸で開かれる国連防災会議にボランティアとして参加させていただけることになりました。直接復興に協力できませんでしたが、このボランティアを通して防災に対する意識を高め、被災者の立場でもそうでなくても助け合える人間になりたいと思います。

名前: 徳永 有香 (とくなが ゆか)

年齢: 23

住所: 兵庫県龍野市

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫	都道府県	高砂 市・町・村
フリガナ 氏 名	井手彩葉	(15歳)	参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

勇気と希望を胸に一步一步、歩いていって下さい。未来は明るい!!

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

わたしたちは、当時4歳。今、学校で震災について学習している真最中ですが、共に考え、歩んでいきたいと思ひます。

小野市立河合中学校第2学年一同

(お名前) 小野市立河合中学校

(年齢) 14 歳

(ご住所) 小野市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

中越地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます、それは10年前の私たちと同じだからです。寒さ厳しいこれから仮設住宅での生活をされる皆様に、私たちの仮設生活の経験を伝えて少しでもお役に立てばと筆を執りました。

私達は阪神間の西宮市全域から市の最北端の名塩と言う所の山の上に集められ、高齢者が多く、全く面識の無い人ばかりでした。入居当時は話し声も聞こえず静で寂しい所でした。私は何んとかして皆んなで仲良く楽しく暮らせるきっかけは無いかと考えて居ました、そんな時義母が見舞いに来てくれた際、トイレの段差が高く出入りが不便でした、この段差を無くする台を作って配れば、仲良く出来るきっかけになるのでは無いかと思ひ廃材を集めて台を作り近所の人から配り始めました、それが好評で次ぎから次ぎと注文が殺到して、当時入居の120軒に配りました。

それから話し声も聞かれるようになりました、そこで挨拶運動のビラを貼り、孤独死を出さない事(仮設の命は仮設で守る)を合い言葉に結束して行きました。

その頃から、ふれあいセンターが建設され、地域の社協の支援を受けていた、ふれあいセンターの運営も仮設住民が運営に当たり、皆んなで力を合わせて多くの行事を開催して、閉じこもり防止に努めました。

私たちは人間としての誇りを失わず、色々な人から受けた厚意は忘れず、人に対する優しさを持ち続けて、仮設生活も無駄では無かったと思えるのです、今は少しでも世の中の為になるようにと頑張っています。

震災を記念して、名塩仮設で出会った人が集います、皆様も何年か後には私たちと同じように笑って暮らせる日必ず来ます、不便な生活とは思いますが、暫くの心棒ですから、頑張ってください、自立復旧の一日も早からん事を念じて止みません。

平成十六年十二月

阪神淡路大震災被災者 北田 昭三

ふりがな お名前	北 田 昭 三	年 齢	76 才
ご住所	三 田 市	都道府県	市・郡

寒気が身を引き締め今日この頃、
皆様には益々ご健勝のことと存じます。
私たちもお蔭を持ちまして無事消光しております。
その節は一方ならぬお世話になりました。心より厚くお礼申し上げます。

さて、震災10年・名塩旧仮設のつどい、ボランティアの集いを
兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部との共催で計画致しました。

目的は10年を節目として企画しました。

- ①震災を振り返る
- ②震災を風化させない
- ③あらゆる災害に備える

私たちの過ごした名塩仮設での生活や行事が西宮市の市史に編纂されています。現在も震災や台風による水害や土砂崩れ、地滑り等で被災されて、私たちと同じ苦勞を避難所や仮設でされております。

また、せまりくる高齢社会も、私たちは10年も先取りして暮らして来ました。

こうした経験も少しは参考になるのではないかと市史に書かれています。

震災10年を記念に、もう一度感慨を新たにして、名塩での仮設生活の思い出話や現在の状況などを大いに語り合い、励ましあい、その体験を風化させないように、また、今後の災害に備えるように致しましょう。

懐かしい顔が拝見できるのを楽しみにしております。ご多忙中とは存じますが、ぜひご参集下さい。お待ちしております。

小泉武夫先生の講演は、市民の方にも公開です。お知りあいの方へ同封のチラシをお渡し下さい。

北田 昭三

震災10年 旧名塩仮設 交流の集い ご案内

1月15日 (土) 午前10時～午後4時30分

西宮市民会館 4階 「中会議室1」 (阪神「西宮駅」すぐ、西宮市役所の南隣)



第Ⅰ部 (午後12時45分～2時45分)

- ・追悼
- ・コンサート 二胡 (胡弓演奏)
- ・市民公開講演 「発酵食品の底力～緊急災害時の活用法～」

講師 東京農業大学教授 小泉武夫先生

※小泉先生は、テレビ・ラジオでお馴染みの「発酵学の博士」です。納豆など発酵食品を活用した災害対策と、日頃の健康食生活についてご講演いただきます。ご家族、お知りあいの皆様お誘い合わせてご参加下さい。

第Ⅱ部 (午後2時45分～4時30分)

- ・コンサート 二胡 (胡弓演奏)
- ・名塩仮設の思い出のスライド上映
- ・講演 「健康と暮らしを見つめて～10年の被災地訪問から～」 日本福祉大学名誉教授 金持伸子先生
- ・交流会

※午前10時から、思い出のパネル展・健康相談コーナー(医師・歯科医師がお応えします)などを行っています。

※午後4時30分からは「ボランティア交流の集い」を開きます。

※お願い

①お知りあいの旧仮設の方のご連絡先を教えてください。このチラシは住所を把握している60人のみに送っています。

もっとたくさんの方に案内したいのでご存知でしたら教えてください(同封葉書でお願いします)。

②必要な方は昼食のお弁当(実費800円)をご用意できます。同封のはがきでお申込下さい。

主催 旧名塩仮設住宅連絡協議会、兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部 連絡先 北田昭三(電話0795-59-8240) 中北喜一(電話0798-74-9678)

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

メモリアルウォークは一昨年続き2回目の参加です。今回も10年前のあの日のことを思い起こしながらウォーキングしたいと思います。

(お名前) 田中道雄 (タナカミチオ)

(年 齢) 46 歳

(ご住所) 兵庫県三田市

「1.17メッセージ」応募用紙

— 日常の生活の中で常に活かせる震災の教訓
の、震災の教訓を伝承する
常に震災の教訓を同じくせな事
そんな思いを普段の生活の中で行おう
事健康安堵を感いいます

(お名前) 竹田 秀雄

(年齢) 56

(ご住所) 兵庫 都道府県 三田 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は、~~〇~~ 今日 神戸に来る。

初めての地しんという物を

知ったような気がします。

地体という物は、どんな物よりも、強く
おそろしいことなのだ、知りました。

● 阪神・淡路大震災を、今日、
えいごうで見て、なんだか、

とてもドキドキして、次はなに
次はなにと思いかごうぞう。不安で
いっぱいになり
たかえした。

ふりがな お名前	小西つかさ	年齢	10才
ご住所	兵庫 都道府県	加東 市・郡	

メッセージ:あの日、まだ僕は4歳になったばかりでした。
当日の朝の事は、何も覚えていませんが、親に助けられて家具の下敷きになることがなく無事に生き残ることが出来ました。
あの時は、後に震度7の地区があると発表された西宮市に住んでいました。
周りの建物は、もうどうしようもない状況で、道路も真っ二つに割れたようなひどい状態でした。
だけど、僕が住んでいたアパートは何の被害も受けずに残りました。
でも、家の中はメチャクチャ。食器棚から皿や椀があちらこちらに散乱して…。
そして、僕があの時大切に使っていた小さな車の乗り物も壊れてしまいました。本当にショックでした。
少し前までは、『なんでまだ兵庫にいるんだらう』って思ったこともあります。
でも、やっぱり僕は兵庫が好きです。兵庫こそ一番だって思います。
これからもずっと兵庫にいたいって思うし、兵庫で自分を大きくしたいと思います。
そして、震災のことは決して忘れずに生きていこう。どんな辛いことがあっても、乗り越えていける。そんな人間になりたい。
最後に、未だに震災で寂しい思い、辛い思いをしている人たちが一日も早く立ち直ってくれるように…。
『いつか必ず兵庫は元に戻ると。いや、必ず震災以前よりももっと活気がある兵庫・神戸に変わると信じて…。』誰もが大好きになる兵庫を目指して！！

名前:葉玉啓太(はだま けいた)

年齢:14

住所:兵庫県三田市

メッセージ:10年前のあの日、僕はまだ小学校2年生でした。寝ている最中に大きな揺れがあり、一緒に寝ていた両親が僕を抱きかかえるようにして布団の中に潜り込みました。まだ幼かった僕は、いまいち何が起こったのか分からず、あまり不安などありませんでした。しかしテレビを見ていると、大変なことが起こったんだ、と幼いながら思ったことを覚えています。その時は学校での募金ぐらいしか出来なかったけど、今、新潟で地震があつて、被災地にボランティアとして行きたい気持ちでいっぱいです。新潟のようすをテレビで見ると、本当にひどく、こんなことが神戸でも起こったんだと思うと、信じられません。あの日からもう10年経ったのですが、やっと元の神戸に戻ってきた気がします。今の僕には、過去のことを調べる事しかできませんが、いつ起こるか分からない天災に備えて、普段から準備をしておかなければいけないなとつくづく思います。

名前:まつい じゅんいち

年齢:17

住所:兵庫県養父市

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今日、ここに来て、阪神淡路大震災のこと
 について見てとてもこわかったことがわかり
 ました。わたしは、もし、わたしたちの住んでい
 る所に大震災がおきたらこわいな^田と思^ま
 っていました。
 とてもこわくて、いまにもなまきょうになりました。
 さくば、たんに、おいのりをしたいです。



ふりがな お名前	繁本 佳奈	年 齢	リ 才
ご住所	新 兵庫県	都道府県	加東市 市・郷

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の日は、わたしの1才のたんじょう日でした。よくそのときのことは、よくおぼえていないけれど、すごく大きなじしんだったと思います。今日このシアターを見てすごくよくわかりました。もしもわたしのすぐんにいるところではじしんがおきたら人とたすけあってかかんはっていきたいと思います。☺

ふりがな お名前	ヤナギ 柳	アヤカ 彩加	年齢	10才
ご住所	兵庫 都道府県		加東 市・郡	

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

しんじつのことをみたりきいたりして私にと
てもよかったです
けれど今このように元気ですごせるの
もしんじつの日寺にお母さんがまわ
てくれたおかげです。お母さんあ
りがとう

ふりがな お名前	しんの 平野 睦子	年齢	10才
ご住所	兵庫 都道府県 加東 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の時、私は小さなおぼえてないけど、とても大へんだったんだ"なおと思いました。

しんじ"17でもよく生きのびたなと思いました。

ふりがな お名前		年齢	10才
ご住所	兵庫県 加東市		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災でなにがあったか
おぼえていないけれど、あんなにこわい
地しんだとは思いませんでした。

~~夫~~金の

おおせいの人がなくなり、かなしい思いを
していたとはしりませんでした。

ふりがな お名前	よめごの 米澤あゆみ	年齢	10才
ご住所	兵庫 都道府県 加東 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の時、私はまだ0才でした。だから、何も分かっていないけど、~~このときおどかされた~~家族に話をきいて、初めてとてもこわいものなんだと知りました。でも、ここにきて、もうこわいものだと知りました。本当にこわくてふるふるしいものなんだと知りました。たくさんの人と助け合うことは大それたことだと思いました。そして命はとても大切なんだと知りました。

ふりがな お名前	南中 遥	年齢	10才
ご住所	都道府県 <u>兵庫県</u> <u>加東郡</u> 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神淡路大震災しんは、わたしは赤ちゃんだったので、また
 く知りませんでした。でもこんなに多くの人々がなくなり、町が
 こんなにつぶれると知らなかったのでもおどろきました。
 このえいがお見えて、家族が生きていてありがたいです。

ふりがな お名前	ニヤマ ユリ 西山 友理	年 齢	才
ご住所	兵庫県加東郡 都道府県 加東郡 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

神戸の地しんでは、とてもたいへんだったと思います。
 あたしは、スクリーンことかをみて、ボランティアの人みたいに
 協力したい気がしました。こんけふにたいへんだとか、
 家がたいへんもたいへんだと思います。わたしたちは、
 じしんがたいへんによりもたいへんな事を知りました。

ふりがな お名前	松尾彩花	年齢	10才
ご住所	兵庫県	都道府県	加東郡 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

このいしんは、すごくてすごくて~~こ~~い
いしんですも。

ふりがな お名前	加茂、美羽	年齢	9才
ご住所	兵庫県神戸市(郡)		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

生きていた人は、子どもや、
 まいごをたくさんかきつけてあげよう
 といふ気持ちで頑張りました。

ふりがな お名前	木本 薫	年齢	8才
ご住所	都道府県 (兵庫県神崎 市(郡))		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

ちよとにわかったよ。

ふりがな お名前	小まつ、かん	年齢	8才
ご住所	神崎郡	都道府県	市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

このじしんはとってもこわいんだな〜。
と思いました。もうこれからいいわに
くらせるようにねがっています。

ふりがな お名前	藤花 麻衣	年齢	9才
ご住所	兵庫県 (兵庫県) 市・郡		

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

思い新たに（希望の光）
仮設の屋の隅に見た春の彩
北淡の割れ目へ草が立ちよがる
一杯の水の情けを分け合つて
全財産もタタみに歩く瓦礫街
駆けつけてくれた仲間素手素足

ふりがな お名前	東 狐 恭 仁 子	年 齢	71 才	
ご住所	兵庫県	都道府県	加古郡	市・郡

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「 1 . 1 7 メ ッ セ ー ジ 」 応 募 用 紙

10年前、神戸大学へ炊き出しボランティアで1週間、お手伝い致しました、毎年復興状況を見守っております。

(お名前) ホリノコウゾウ

(年 齢) 63 歳

(ご住所) 兵庫県揖保郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

最初は何が起ったのか全くわからず、続く余震にもおびえていた記憶があります。私の住んでいる所はそれほど被害は大きくなかったのですが、三宮まで出てきた時にきれいに直っている所。鉄筋がむきだしで放置された所。蓋がなくて子供心におなきとおぼろげなところ。

日本の各地で災害が起りましたか、負けず、くじけず神戸と同じくらい元気に頑張ってほしいです。

ふりがな お名前	床野 優紀	年齢	22 才
ご住所	兵庫	都道府県	加古
		市・郡	

「1.17メッセージ」応募用紙

私は当時宇治の自衛隊で勤務しており、地震発生後
2〜3時間でお発態勢は出来たものの出勤命令が発令さ
れたのはその日夜半でした。5〜6時間かけて西宮市に到
着人命救助しつつ翌日の負傷者神戸市に入り被害の
大きさにおどろきました。天災地度には防ごう事は出来ませんが
職場或は家庭において転倒落下防止等の処置と心の
準備が大切だと改めて認識させられました。被害の大
きかった神戸市は確実に復興していきます。しかし御家族を
亡くした皆様の心は本当に癒されているのでしょうか。復興
10年目の行事にあたり、お祭事ではない事を確認し御家
族を失った皆様が一日も早く癒される日が来ますよう望んで
いるのであります。「頑張れ神戸」「けっばれ神戸」

(お名前) ^こ ^{やま} ^{のぶ} ^や
山本 伸也

(年齢) 60

(ご住所) 兵庫 都道府県 姫路 市 郡

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい)			
住 所	兵庫 都道府(県) 攝摩郡	市・町・村	
フリガナ 氏 名	三ツ江 トウサケ子 (62歳) 首藤 ち子	参加総人数 (申込者を含む)	※2人以上の場合に記載して下さい。 人

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

10年前の1月17日私は東京で働いていました。とても言じられない
震災でした。何も出来ず私だけが、せめてこの目で見ておきたい。その
年の春帰省した際は、長田辺りを歩いて回りました。テレビ映画の
セットや可憐な方には感謝を今も忘れません。毎年歩きたいと思いつつ。

「1.17メッセージ」応募用紙

当時 私は 中学2年生でした。

3学期は 男子学校ばかり、~~決り~~ 学校の校舎も
倒壊し、通学で男子校にたよる ぶんじんマスクを
着用する毎日でした。

私達の学年からは 1人の犠牲者が出て、4年後の
大学センター試験後にお墓参りというのを印象的に
覚えています。

~~10年経って、久し振りに戻って神戸にいます。~~

~~神戸に復讐途中に~~ 神戸成人になりました。
10年経って、^{神戸}と云って復讐したいです。
ここからの神戸を見守ってほしいと思います。

ふりがな お名前	匿名希望	年齢	23才
ご住所	兵庫 都道府県	市・郡	